

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■ 2012年 10月号 月1回発行 115号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：本橋 益男 TEL・FAX 03-5443-4110



「オスプレイはいらない沖縄県民集会」に10万人超が参加
【宜野湾市 海浜公園 2012. 9.9】

目	次
オスプレイ配備反対	2
高江ヘリパッド建設反対座り込み	4
三多摩反核座り込み400回を振り返って（連載2）	5
第49回護憲大会	6
活動報告	6
今後の日程	7

オスプレイの普天間基地配備強行を糾弾する
オスプレイの普天間基地配備に反対し、
全国低空飛行訓練を阻止しよう
11. 4「止めるぞ！オスプレイ沖縄配備 許すな！低空飛行訓練全国集会」
(芝公園 23 号地)に総結集しよう

**「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」に
10 万 1000 人が参加**

沖縄県宜野湾市の海浜公園で9月9日、「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」が開かれました。この大会は、県議会の各会派を中心に、県内の市町村長、労働組合、経済団体、各種社会団体が共同して開催したものです。炎天下の会場には10万1000人が集まり、オスプレイの沖縄配備に反対する県民の意思を示しました。



平和フォーラムは沖縄県民に連帯するために加盟組織に対して参加を呼びかけ、各地域組

織や中央団体、50人近い人々が集まりました。

東京平和運動センターからも2名を代表派遣し、県民との連帯行動を行いました。

10時からプレイベントとしてコンサートが行われ、11時から本大会が始まりました。大会では共同代表として、喜納昌春さん（県議会議長）・翁長雄志さん（市長会会長）・照屋義実さん（商工連合会会長）・仲村信正さん（連合会長）・平良菊さん（婦人連合会会長）がいさつ。その後に宜野湾市長の佐喜真淳さんや、若者代表の加治工綾美さんが続きました。

最後に参加者全員で、オスプレイの沖縄配備に反対するシュプレヒコールを行い集会を閉じました。

東京でも「県民大会に連帯」

10000 人が国会包囲行動

9月9日「沖縄県民集会」に連帯して、東京でも国会包囲行動が行われ、10000人が参加しました。

2012 年 10 月 1 日

**オスプレイ普天間基地強行配備への
抗議声明**

フォーラム平和・人権・環境
事務局長 藤本泰成

10月1日、米海軍岩国基地に一時駐機中であつた垂直離着陸輸送機 MV-22 オスプレイが、沖縄県普天間飛行場に移動し正式に配備された。沖縄県知事、沖縄県議会、そして沖縄の41市町村全てが、オスプレイ配備に反対している。そして何よりも多くの沖縄県民が普天間基地ゲート前で強い反対の姿勢を自ら示す中での配備強行に、平和フォーラムは心からの怒りを禁じざるを得ない。

配備予定を前にして、度重なる事故を起こし安全性に大きな疑問があるにもかかわらず、日米合同員会は偽りの安全宣言で日本社会を欺むこうとしている。問題のオートローテーションの有無に関しても、米国は明確に答えていない。安全対策の全ては、運用に差し支えない限りの努力目標でしかない。岩国の試験飛行では、「住宅密集地の飛行を避ける」と言いながら、早くも子どもたちの運動会の上空を飛んだ。まやかしの安全宣言であることは疑いない事実である。

日本政府は、日本の安全保障上必要な措置としているが、東アジアの現状において、日本有事に米軍が行動する保証などない。米国の国益のための軍隊を、国民の安全を犠牲にして存在させる理由はもはや存在しない。日本政府は、平和憲法の下、直ちに東アジアにおける共通の安全保障への努力をすすめ、共存共栄の東アジア社会構築をめざさなくてはならない。

米国内では、ニューメキシコ州やハワイ州において、住民の反対からオスプレイ飛行訓練のための「環境影響調査」を中止している。なぜ、日本においては多くの反対があるにもかかわらず配備を強行するのか。米国政府は、日本国民を愚弄しているとした考えられない。

平和フォーラムは、住宅密集地に存在する極めて危険な普天間基地から日本国内を日本の航空法を無視して飛行するオスプレイ配備に断固反対し、沖縄そして全国の仲間との連帯の中で、最後まで配備の撤回を求めて闘うことを確認する。

オスプレイ配備強行に対する 平和フォーラムの取り組み

1. 日本政府に対する抗議打電行動

総理大臣・外務大臣・防衛大臣への抗議打電行動を行います。詳細は下記の通りです。

①要請先

●内閣総理大臣 野田佳彦 様

住所 〒100-0014 東京都千代田区
永田町 2-3-1 総理大臣官邸

FAX 03-3581-9351

E メール 首相官邸のサイト

<http://www.kantei.go.jp>

→画面上段・右にある「ご意見募集・ご感想」をクリック

●外務大臣 玄葉光一郎 様

住所 〒100-8919 東京都千代田区
霞が関 2-2-1 外務省

FAX 03-5501-8430

E メール 外務省のサイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

→画面 2 段目のバー・右にある「各種手続き・ご意見」をクリック

●防衛大臣 森本 敏 様

住所 〒162-8801 東京都新宿区市
谷本村町 5-1 防衛省

FAX 03-5269-3270

E メール 防衛省のサイト

<http://www.mod.go.jp/>

→画面一番下のバーの右から 3 番目にある「ご意見」をクリック

②とりくみ期間

10 月 12 日（金）まで

2. アメリカ大使館に対する抗議打電・要請はがき行動

アメリカ大使館・アメリカ政府に対する抗議打電・要請はがき行動を行います。

(1) 抗議打電

①要請先

●アメリカ合衆国大統領 バラク・オバマ様

●駐日アメリカ大使 ジョン・V・ルース様 (大統領と大使を連名にしてください)

住所 郵便 107-8420 東京都港区赤坂 1-10-5

E メール 米国大使館のサイト 以下のアドレスをクリック

<http://japan2.usembassy.gov/j/info/tinfoj-email.html>

②とりくみ期間

10 月 12 日（金）まで

3. 全国集会の開催について

①名称

「止めるぞ！オスプレイの沖縄配備 許すな！低空飛行訓練 11・4全国集会」

②日時 2012年11月4日(日)

14:00~15:00

* 集会終了にデモ行進

③会場 東京都港区「芝公園23号地」

④主催 平和フォーラムと市民団体で作る 実行委員会

高江ヘリパッド建設反対 座り込み行動に参加して

東京平和運動センター副議長 関 久

東京平和運動センターは、9. 9「沖縄県民大会」参加後、平和フォーラムの、「高江ヘリパッド反対」座り込み行動に関副議長を派遣しました。

高江は東村（人口＝1,500人）にあり沖縄本島北部に位置し、太平洋に面する村です。

那覇から車で約2時間半、名護から車で1時間のヤンバルの森で、「ブロッコリーの森」といわれています。ここに在沖米軍海兵隊の北部訓練所があります。この北部訓練場は唯一のジャングル戦闘訓練場で、このような戦闘訓練施設は米国本国にもないといわれています。この訓練場の北半分（約4,000ha）が日本に返還される予定です。しかし、6か所のヘリパッド（直径45mの着陸帯と周囲15mの無障害物帯、合計75m）と進入路の建設が条件になっています。これらが建設され軍事演習が行われた場合、危険極まるオスプレイの訓練で、近隣住民のいのちと生活が脅かされます。

また、森林とそこに棲む野生生物に大きな悪影響をおよぼします。北部訓練場の自然環境と野生生物は、世界自然遺産の価値があります。IUCN（国際自然保護連合）は、日米両政府に、米軍ヘリパッド建設に関し、ゼロ・オプション（造らないという選択）を含む代替案の検討、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保護区設定と保全行動計画の作成を勧告しました（2000年、2004年）。ヘリパッドに隣接する東村高江地区の住民の安全で平穏な生活を守るために、2007年からヘリパッド建設計画の中止を求め、座り込み行動や裁判闘争など闘ってきました。

この度、平和フォーラムの一員として「9・9オスプレイ配備に反対する県民大会」に参加した後、13日まで高江の座り込みに参加しました。これまで防衛局はN-1というヘリパッド建設を強行しようと、激しく反対住民と対峙してきました。しかし、QAB琉球朝日放送が高江上空で撮影し

た結果、正面ゲートから密かに資材を運び込みN-4のヘリパッド建設を進めていることが判明しました。その結果、10日からは座り込み場所を正面ゲートに移し、防衛局職員の立ち入り阻止行動と建設業者の資材搬入の監視行動を行いました。

私が滞在した間には防衛局職員は姿を見せませんでしたが、県民大会の影響かもしれません。しかし、建設業者関係の車やトラックが正面ゲートに近接してくると、座り込み行動隊はどのような仕事で来ているのか、資材は何に使うのかを糺し、厳しく監視を行いました。ヘリパッド建設に関連



する資材ならば、説得行動を行うというものでした。

高江の反対住民は、自分の生活を維持

しながら反対行動を続けるという、極めて過酷な状況で運動を進めています。24時間の態勢を敷いています。今、オスプレイが岩国から普天間に強行に飛行してきました。高江のヘリパッド建設は、オスプレイが低高度で飛行する地形飛行経路で、オスプレイにとって必須の訓練なのです。この高江でヘリパッド建設を止めれば、オスプレイは主要な訓練ができず、配備の意味もありません。今後は普天間基地での闘いと高江の闘いが普天間基地閉鎖と辺野古新基地建設反対の主要な鍵となります。来年の2月ごろまで継続して闘われます。



皆様のご支援を宜しく願います。

9. 12 正面ゲート前に座り込む仲間たち
(最前列に 関副議長)

出田光雄さんの報告(その2)

反核座りこみ 400 回を振りかえって

(前三多摩平和運動センター事務局長)

三多摩平和運動センターの「反核座り込み」行動は本年7月6日の立川駅前で、400回を達成しました。記念集会での、33年の歴史の報告を連載します。今回はその2回目です。

三多摩原水禁は1966年に三多摩労協、社会党などで結成されましたが、原水禁大会への参加は単産・地区労ごとでした。三多摩派遣団を組織して参加するようになったのは1977年からです。当時三多摩派遣団を組織し、その指導的役割を果たしたのが、既に亡くなりましたが、1970年から80年まで続いた石野議長、鈴木事務局長のコンビです。石野議長は1981年、鈴木事務局長に代わって専任事務局長となり、その後の三多摩の労働運動、反戦平和運動の指導的役割を果たし活動を進めてきました。

1977年から原水禁大会に参加するようになった三多摩派遣団の特徴的活動が広島・長崎の県労被爆連との交流活動の実施です。(広島被爆連との交流会は被爆連のメンバーが高齢化したとの理由で2004年に終了し、2005年からは広島被爆連に被爆体験者の派遣を要請し被爆体験を聞くことになりました)

被爆連との交流会を通じて、広島、長崎で被爆者として活動している県労組合員の方々から被爆体験や被爆連の活動状況、広島での反核座り込みの取組の状況などを聞き、核廃絶への思いを新たにすることができ、その思いを具体化したのが「反核座りこみ」です。

広島では、1973年7月19日、フランスがムルロワ環礁で実施した核実験に抗議し、翌20日正午から1時間、広島原水禁が平和公園の原爆慰霊碑の前で抗議の座り込みを実施したのが始まりで、以来、広島では核実験が行われるたびに、その翌日正午から1時間平和公園の慰霊碑の前で抗議の座り込みを実施していました。

この経験に学び、三多摩の地で実行可能な取組として、6の日(広島原爆投下日)、9の日(長崎原爆投下日)を「反核の日」とし、三多摩26市5町1村を巡りながら、人の集まりやすい昼休み時間(12時15分～45分)に座り込みを実施することが、三多摩労協、三多摩原水禁の場で決定されました。

第1回の「反核座りこみ」は1979年12月6日、立川市役所中庭で40名の仲間が参加して実施され、以降雨の日も風の日も暑い日も寒い日も毎月6日か9日に市役所前や駅頭で「反核座り込み」が行われ、今日、33年目に入り、去る7月6日午後6時～1時間余にわたって立川駅頭で400回目の座り込みを59名の参加で実施し、400回に到達することが出来ました。

石野事務局長は1986年末の退任まで座り込みに参加し、「反核座りこみ」の継続について次のように述べています。『原水爆禁止運動の原点に立ち、原爆の閃光と業火の中で、悶え苦しみながら息絶えた広島・長崎の人びと、そして未だに放射能汚染によって身体をさいなまれている数多くの被爆者に思いをはせ、原水爆禁止を願う全ての国の一人ひとりの声を大切に、その声を国際的連帯大合唱に発展させていかねばならない。そしていかなる国の人びとも核の脅威から逃れ、生きる権利、生存の保障がなされる地球を目指すことではないかと思う。これからの原水禁運動の道しるべは、何といたっても三多摩で行っている6の日、9の日「反核座り込み」行動を徹底して行い、非核の裾野を広げていくことである』と。このような思いは石野事務局長だけでなく、当時の三多摩労協や三多摩原水禁の役員共通の思いであり、こ



れが「反核座り込み」の継続に全力を傾注し、今日の基盤を作り上げてきたように思います。

この基盤を踏まえ、多くの方々が三多摩の反戦・平和・反基地・反核運動の発展強化に努力してきていると思います。

それに加え、私の個人的思いかもしれませんが、三多摩の反戦・平和・反基地・反核運動の推進で忘れてはならない闘いに、1955年5月から始まり15年間、米軍立川基地の拡張に反対して闘った「砂川闘争」があります。

(次号へつづく)

「生命の尊厳」をもとに、原発も基地もない平

和な社会へ

憲法理念の実現をめざす第49回大会

(略称・第49回護憲大会)
11月9日～11日 山口市で開催

日時と場所

11月9日(金)13時～11月11日(日)11時 維
新百年記念公園ほか

11月9日(金) スポーツ文化センターアリーナ

- オープニング 13:00～13:30
- 開 会 総 会 13:30～14:30
- シンポジウム 14:30～17:00

11月10日(土) 市内・県内各所

- 分 科 会 09:30～13:00

- ①地球環境―脱原発に向けて
- ②非核・平和・安全保障
- ③歴史認識と戦後補償
- ④教育と子どもの権利
- ⑤人権確立
- ⑥地方の自立・市民政治
- ⑦憲法

- フィールドワーク 09:00～16:30有料

- ①上関原発学習ツアー(上関町祝島)
- ②歴史と自然をめぐるツアー(萩～美祢)

- ひ ろ ば 14:00～16:00

11月11日(日) ホテルかめ福

- 閉 会 総 会 09:30～11:00

護憲大会申し込み・問い合わせ

各団体・労働組合へ
または、
東京平和運動センター事務局
03-5443-4110

活動報告

9. 25 空母母港化39周年・ジョージワシントン横須賀基地母港化4周年抗議、 原子力空母配備撤回を求める神奈川集会

9月25日、午後6時30分より横須賀市のヴェルニー公園において標記集会が開催されました。台風の影響で京浜急行が不通となる中で、地元神奈川を中心に東京からも約100名が参加、全体で1500名が結集しました。

オスプレイの岩国基地搬送の後、沖縄・普天間基地への強行配備が近づく緊張感の中、沖縄



平和運動センターの山城事務局長も駆けつけ支援・連帯の挨拶を訴えました。

JCO臨界事故、福島第1原発事故を忘れない！ 原発再稼働反対

JCO臨界事故13周年集会

9月30日 水戸市

9月30日、水戸市の駿優教育会館において、標記集会が700名の参加で開催されました。東京からも20名が駆けつけました。

集会では「さようなら原発 1000万人アクション」の鎌田慧さんも講演し、国の原子力政策を痛烈に批判しました。



ほかに、福島・双葉地方原発反対同盟代表、臨界事故健康被害裁判の元原告らが訴えを行い、市内をデモ行進して行動を終えました。

活動日誌

- 09.09～10 平和フォーラム・オスプレイ配備に
反対する沖縄県民大会関連行動(沖縄)
- 09.09 オスプレイ配備に反対する沖縄県民大
会(11:00～沖縄・宜野湾海浜公園)
- 09.09 沖縄県民大会と同時アクション「国会包
囲」～オスプレイ配備を中止に追い込
もう(11:00～東京・国会周辺)
- 09.13 日朝平壤宣言 10 周年 日朝国交正常化
をめざす全国集会
(18:30～東京・星陵会館)
- 09.19 「オスプレイ配備の危険性」集会
(18:30 星陵会館)
- 09.22 日本軍「慰安婦」問題に関する日韓交渉
／仲裁を前進させる国際シンポジウム
(14:00～東京・星陵会館)
- 09.05 原子力空母 G・ワシントン配備 4 周年抗
議!空母の母港化撤回を求める集会
(18:30～神奈川・横須賀市ヴェルニー公
園)
- 09.26～27 平和フォーラム都道府県組織・中央
団体責任者会議(東京・日本教育会館)
- 09.27 憲法理念の実現をめざす第 49 回大会(護
憲大会)実行委員会(東京・日本教育会館)
- 09.30 核と人類は共存できない!さようなら原
発 JCO 臨界事故 13 周年集会
(13:30～茨城・水戸市駿雄教育会館)

- 10.22 横田基地の整理縮小を求める三多摩
反戦集会 (18:30 福生公園)
- 10.30 狭山事件の再審を求める市民集会
(13:00 日比谷野音)
- 11.04 オスプレイ全国集会
(14:00 芝公園 23 号地)
- 11.09～11「生命の尊厳」をもとに、原発も基地も
ない平和な社会へー憲法理念の実現
をめざす第 49 回大会(山口市)

10.13 さようなら原発 1000 万人アクション 日比谷集会に総結集を

1. 日 時 : 10 月 13 日 (土) 13:00
開場／13:30 開会／15:00 デモ出発
2. 開 場 : 日比谷野外音楽堂
3. よびかけ : 「さようなら原発」
一千万署名市民の会
大江健三郎さん、鎌田慧さん、
落合恵子さんら 9 名
4. 内 容 : 呼びかけ人挨拶
鎌田慧 (ルポライター) ／
落合恵子 (作家)
発言 大江健三郎 (作家)
高橋哲哉 (東大教授) ほか
13:30～14:00 までオープニングコンサート

デモ／日比谷公園～東京電力本社前～
銀座～東京駅～常磐橋公園(予定)

今後の日程

- 10.06 アジア・アフリカ支援米 (稲刈り)
(10:00 日野市)
- 10.06～07 きれいな水といのちを守る合成洗剤
追放第 32 回全国集会(北海道・函館市)
- 10.10 東京平和運動センター常任幹事会
(16:00 田町交通ビル)
- 10.13 さようなら原発集会
(13:30 日比谷野音)

QAB琉球朝日放送 ドキュメンタリー 「標的の村・国に訴えられた 沖縄・高江の住民たち」

高江の住民の闘いが、描かれる秀逸のドキュ
メンタリーです。
動画サイトで見るができます。是非ご覧
ください。